A99H109-03

壁紙巾裁断ユニット

取扱説明書

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は壁紙巾裁断ユニット「NEWスリッターSC」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にお使いいただくための事柄を記載してあります。ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。また、本機をご利用の際、必要なときすぐに利用できますように本書を大切に保管しておいて下さい。

お使いになる前に

開梱時には以下のものが全て揃っている事をご確認下さい。

・スリッター本体　　　　　　　・取扱説明書
・六角レンチ(3㎜)　　　　　　 ・インテリア機器登録カード

品質には万全を期しておりますが、万一不足や運送中の破損等があった場合は、速やかに弊社営業所までご連絡下さい。

目　　次

安全上のご注意

壁紙巾裁断ユニットをご使用いただくには、正しい取り扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。
以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで糊付作業は行わないで下さい。

この取扱説明書では、取り扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、
その程度により　⚠[警告]　⚠[注意]　[メ　モ]　という項目に分類して表示しています。

⚠[警告]　・・・・　**この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。**

⚠[注意]　・・・・　この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

[メ　モ]　・・・・　これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

⚠警告

スリッターは、回転する２枚の刃物でクロスを切断する構造になっています。運転中は絶対に刃物に触れないで下さい。手が切れます。

スリッター刃物の取り扱いには十分に注意して下さい。手を切る恐れがあります。

⚠注意

本機は精密機械です。落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないで下さい。

保管時は高温・多湿な場所を避けて下さい。また、直射日光の当たる車中に長時間放置しないで下さい。

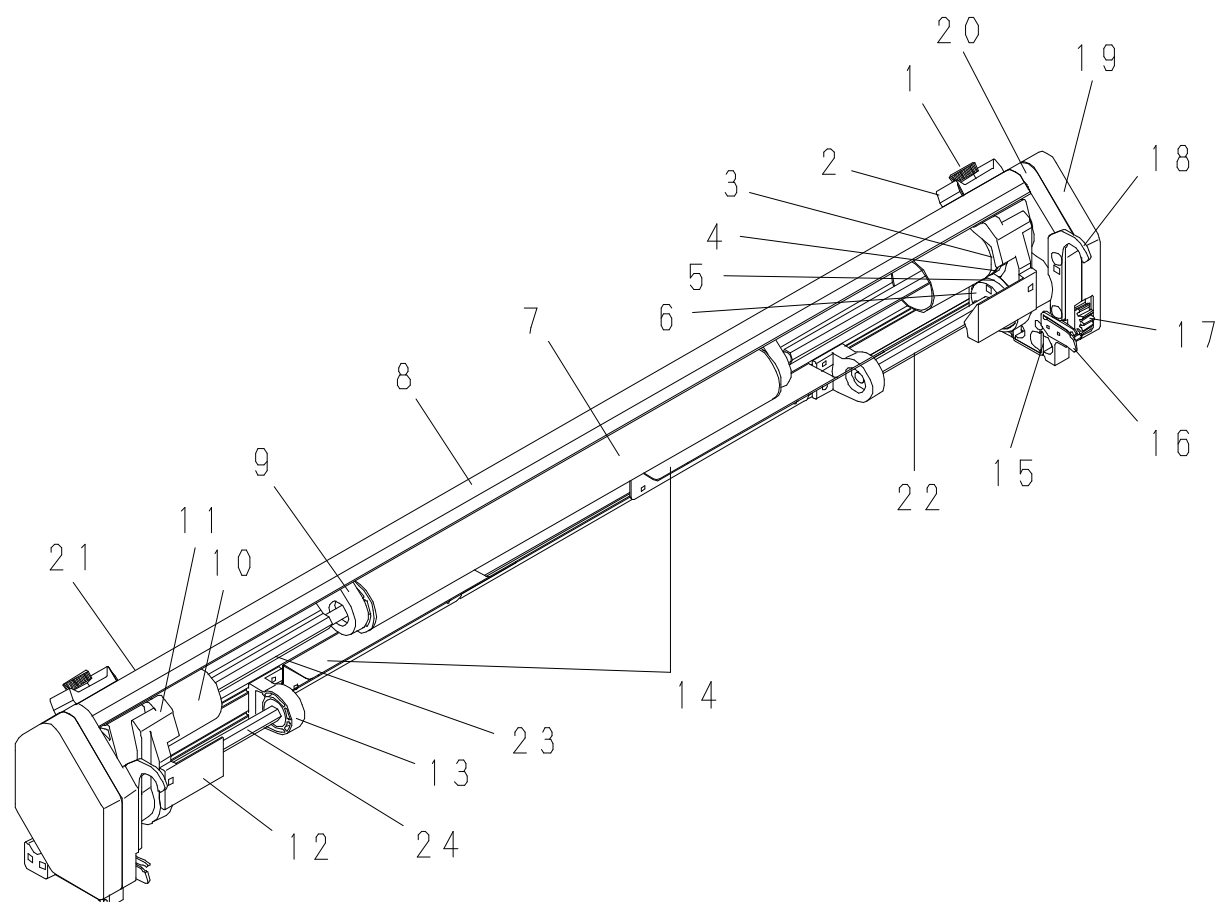
運搬時は糊付機から取り外して下さい。振動等で機械が外れ、破損する恐れがあります。

機械の空運転は避けるようにして下さい。スリッターの刃物の寿命を縮めます。

スリッターの刃物に水や糊が付着したまま放置すると刃物に錆が発生し切れ味が鈍ります。使用後は必ず乾いた布等できれいに拭き取って下さい。

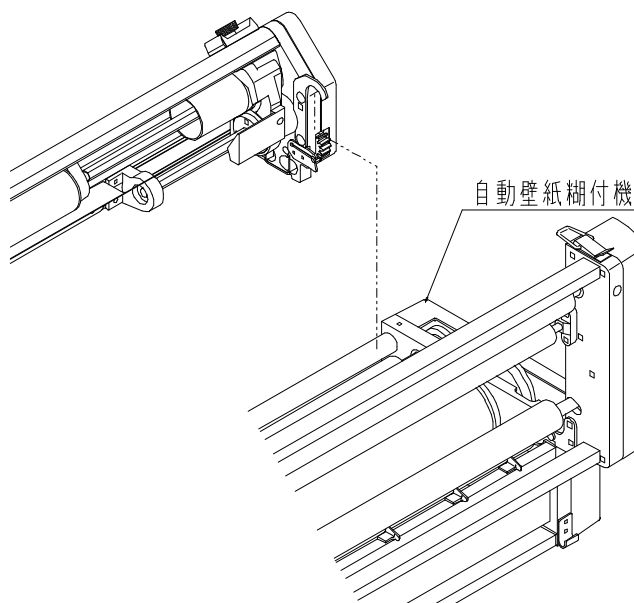
刃物の切れ味を保つため、乾いた布等できれいに拭いた後、薄く油を塗布して下さい。但し、油が付着したままでの使用はクロスに油が転移しますので、使用前には必ず拭き取ってご使用下さい。

スリッターを取り付けた糊付機は必ず、水平なところでご使用下さい。傾いているとまっすぐ裁断できない場合があります。

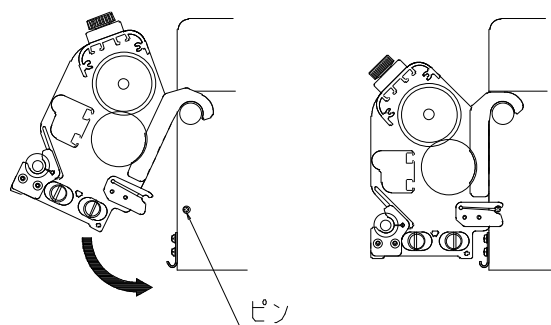
各部の名称

1．裁断幅調節ツマミ
2．スライドブロック
3．上刃物用ボス
4．上刃物
5．下刃物
6．下刃物用ボス
7．ガイドローラー
8．上刃物固定ステー
9．軸受けブラケット（上）
10．押さえローラー
11．刃物ブロック
12．クロスガイド
13．軸受けブラケット（下）
14．ガイド板
15．フック（テンションバー用）
16．グリッパー
17．駆動用歯車
18．フック
19．カバー
20．フレーム
21．目盛板
22．下刃物固定ステー
23．カッターシャフト（上）
24．カッターシャフト（下）

スリッターの取付

スリッターを自動壁紙糊付機に取り付けます。

［1］糊付機のステーにスリッターのフックを引掛けます。

［2］引掛けた後、糊付機のステーを軸にしてスリッターを回転させ、グリッパーが糊付機のピンにはまるようにセットします。

＜取り外すときは？＞

スリッターを取り外すときは、上刃物固定用ステーを両手でしっかりと持ち、糊付機のステーを軸にして手前にひねるように持ち上げて下さい。

駆動用歯車のかみ合いが悪く、スリッターが浮き上がっているときは､カッターシャフト（下）を少し手で回転させると直ります。

カッターシャフト（下）はガイドローラーを手で回転させると簡単に回転できます。

・取付は必ず糊付機本体の電源を切った状態で行って下さい。　誤って動き出すとケガをする恐れがあります。
・スリッターは確実に所定の位置にセットするようにして下さい。本体の位置がずれたり浮き上がった状態のまま使用すると故障の原因となります。

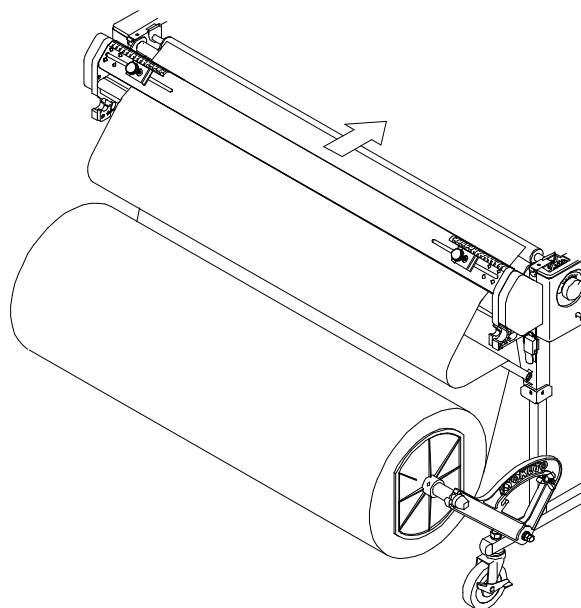
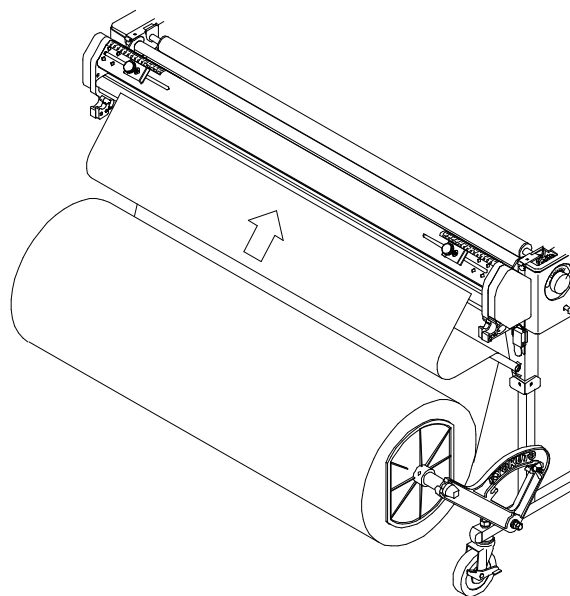
クロス原反のセット

スリッターを使用する場合のクロスのセットは刃物を回転させながら行います。

［１］テンションバーへのクロスの通し方はスリッターのない場合と同様です。

［２］糊付機の上部フレームを開き、割込スイッチを押して刃物を回転させておきます。
（スピードを低めに設定しておくと作業しやすくなります。）

［３］クロスを上刃物固定用ステーと下刃物固定用ステーの間から差し込み、前方へ引き出して下さい。

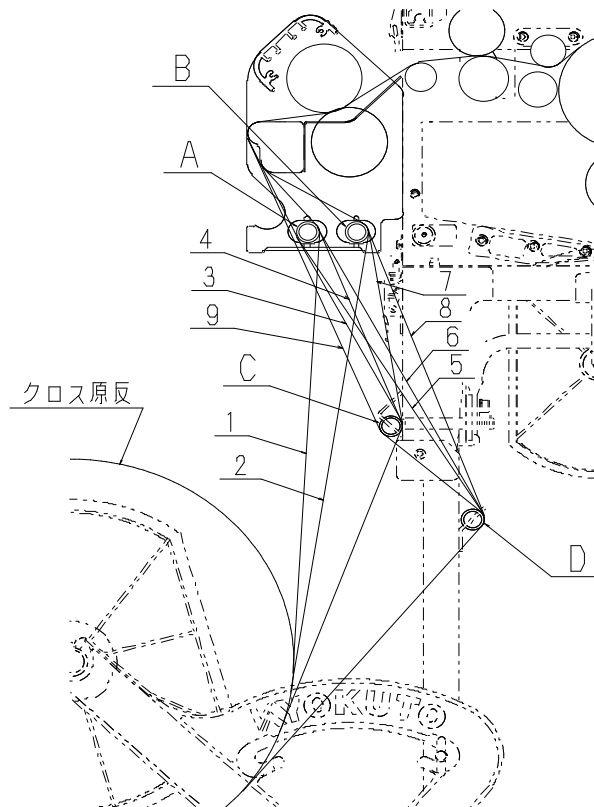
［４］割込スイッチを押して機械の回転を止め、引き出したクロスを糊付機にセットして下さい。

糊付機の操作については当該糊付機の取扱説明書でご確認下さい。

注　意

・クロスを差し込む際は、ガイドローラーの両端外側部に手を添えて差し込むようにして下さい。両脇はガイドローラーと刃物が回転して危険です。ガイドローラーと刃物には絶対に手を近づけないで下さい。
・切り屑が必ず刃物ブロックから排出されていることを確認して下さい。
ブロック内に引っかかっていると切り屑がつまる恐れがあります。

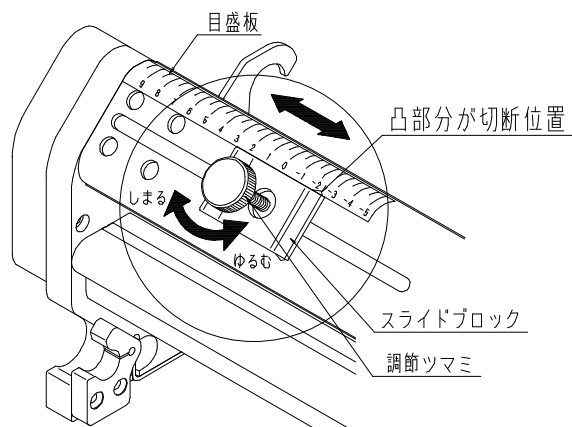
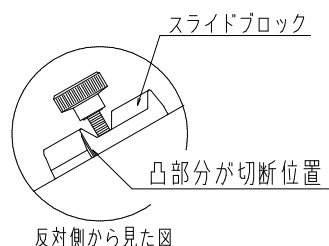
テンションの掛け方

本機は、糊付作業時におけるクロス原反の蛇行及びシワに対し、充分に配慮していますが、クロス原反が多種・多様にあります。使用に際しては必ずテンション（A）（B）（C）のいずれかには掛けるようにして下さい。

テンション強弱	テンションバー取付位置	クロス経路
弱	A＋C	4
↓	C	3
	A	1
	A＋D	5
	C＋D	9
	B	2
	A＋D	6
	B＋D	8
強	B＋C	7

壁紙の種類によっては、強いテンションをかけると糊付機にクロスが上がらなかったり、クロスやテンションバー等を傷める場合があります。予め試験運転の上、テンション位置及びクロス経路の確認後に使用して下さい。

・テンション棒の取り付け及びクロスの掛け方によってテンションが変わりますので、上の表を参考に設定して下さい。

クロス裁断幅の調整

調節ツマミを緩め、任意の切断位置で調節ツマミを固定して下さい。
スライドブロックの凸部が切断位置になります。

刃物の交換

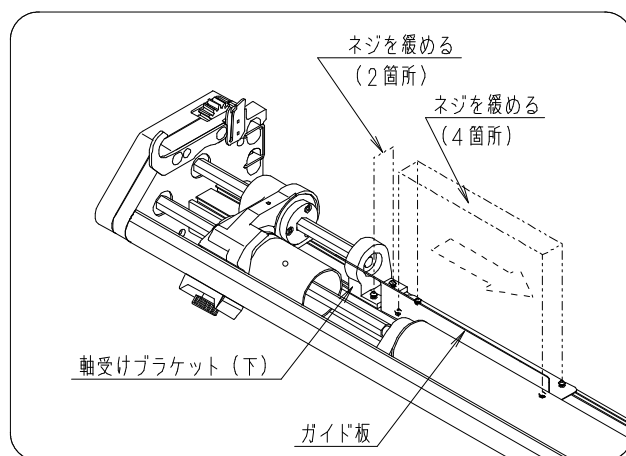
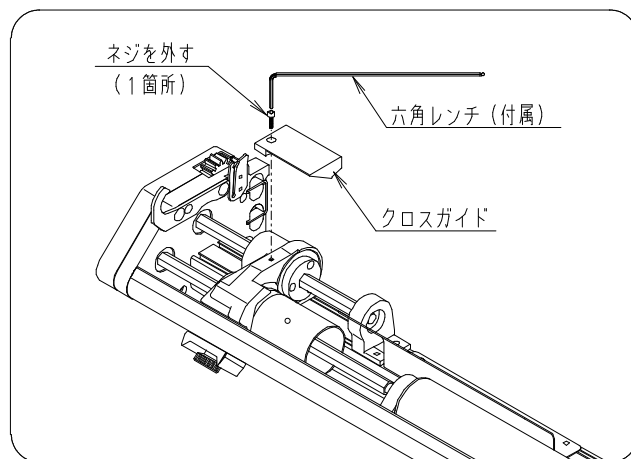
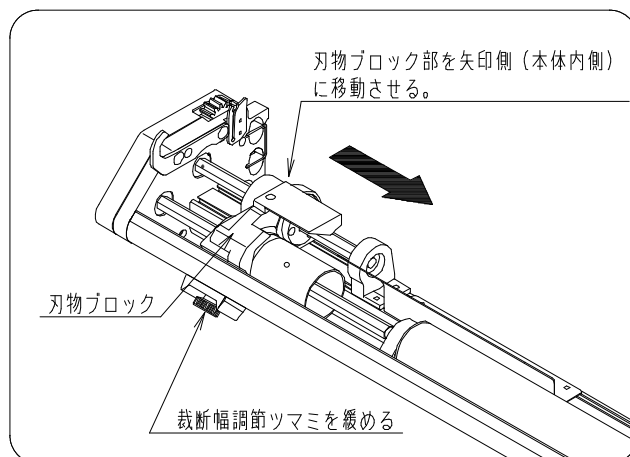
下記の作業は片側のみの作業を解説しています。逆側の作業も同じ要領で実施して下さい。

作業の前に準備する物

- 六角レンチ３㎜（付属）
- モンキーまたはスパナ（１２㎜）
- 軍手などの保護具（ケガをする恐れがありますので必ず着用して下さい。）

［１］調節ツマミを緩め、刃物ブロックを本体内側の作業を行いやすい位置（一番内側から30mm以上はなす、もしくは目盛りの-4～-5の位置）に移動します。移動後、調節ツマミを締め、刃物ブロックを固定して下さい。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

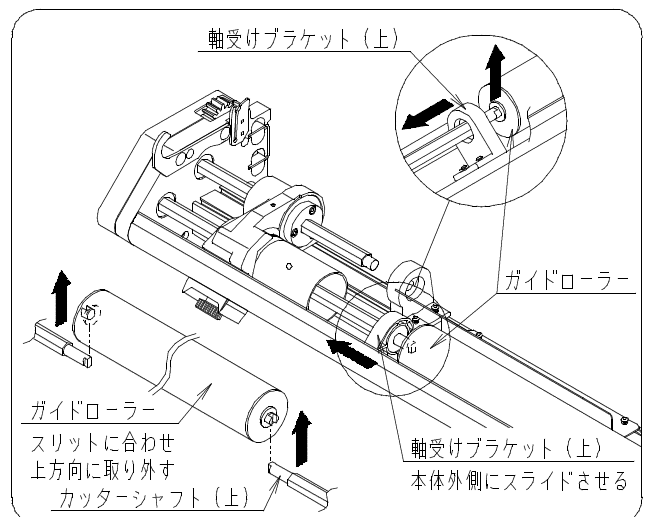
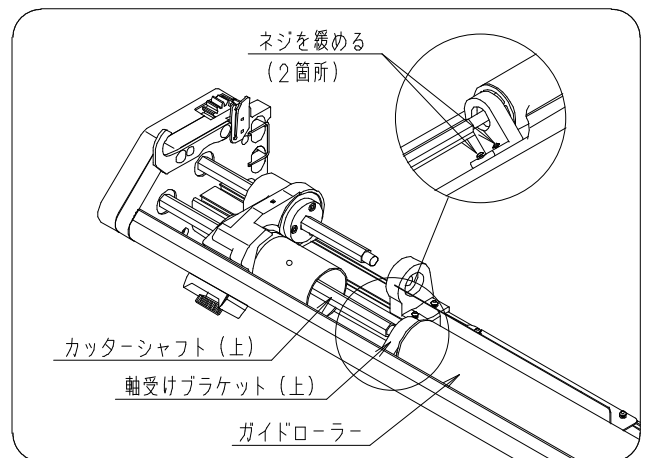
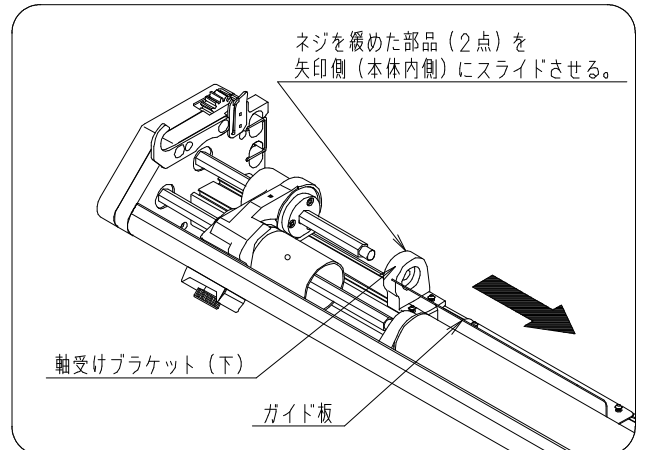
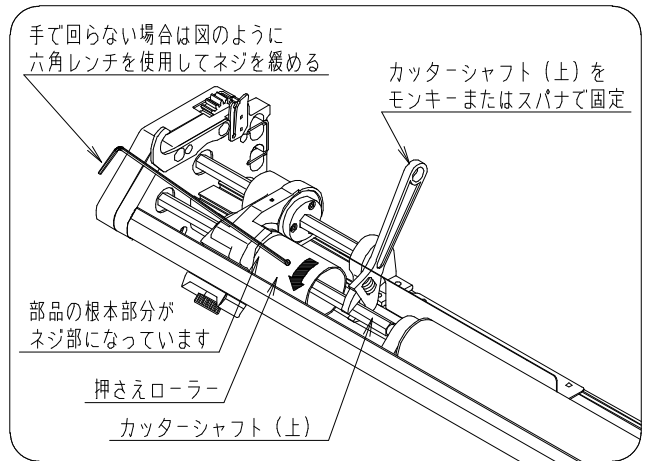
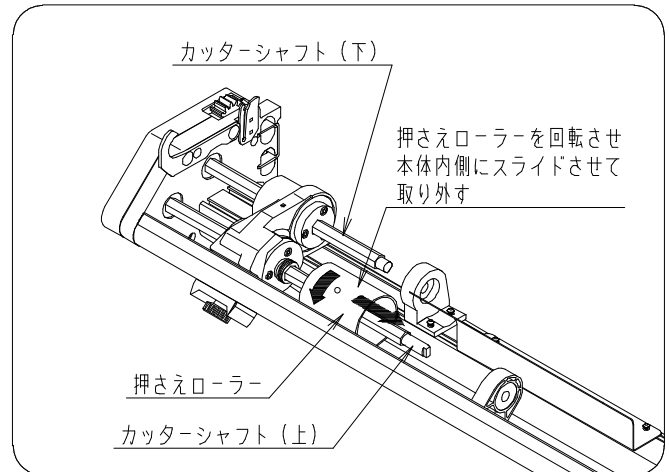
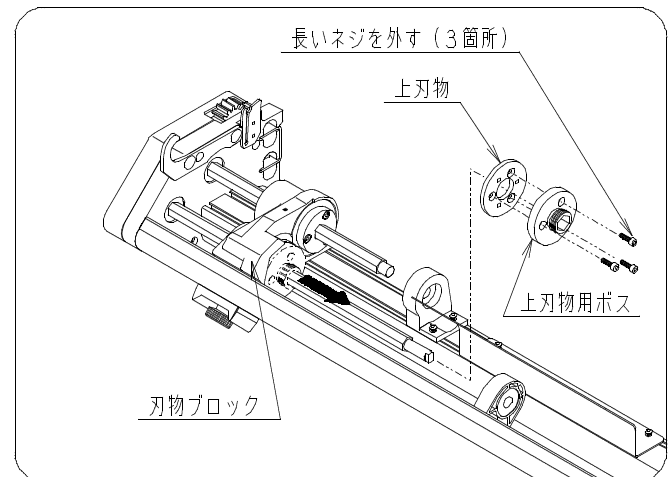
［２］右図のネジを取り外しクロスガイドを外します。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

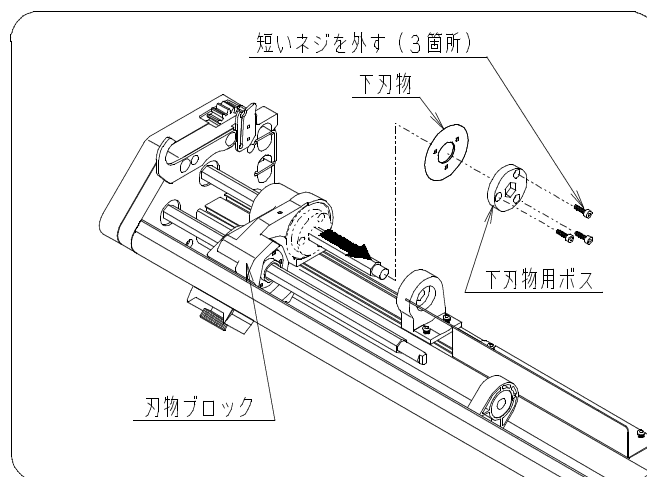
［３］軸受けブラケット（下）とガイド板を固定しているネジを緩めます。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

刃物の交換に際しては刃物でケガをする恐れがあります。作業時には必ず軍手などの保護具を着用して下さい。また、刃物の取扱には十分注意して下さい。

［４］カッターシャフトをモンキーまたはスパナで回転しないように固定し、押さえローラーを矢印方向に回転させて、ネジを緩めます。手で回しにくい場合は図のように六角レンチを「押さえローラー」の穴に入れテコの原理でネジを緩めて下さい。
※他方も図の矢印と同じ方向に回転させネジを緩めます。
※「押さえローラー」のネジ部はクロスの挿入方向から見て、左側が右ネジ（右図中の押さえローラー）、右側が左ネジになっていますので、取り付け、取り外しにご注意下さい。
※押さえローラー取付の際は、手で軽く締める程度にして下さい。

［５］軸受けブラケット（下）とガイド板を本体中央（内側）へ移動させます。
軸受けブラケット（下）はカッターシャフト（下）から外れた状態になります。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

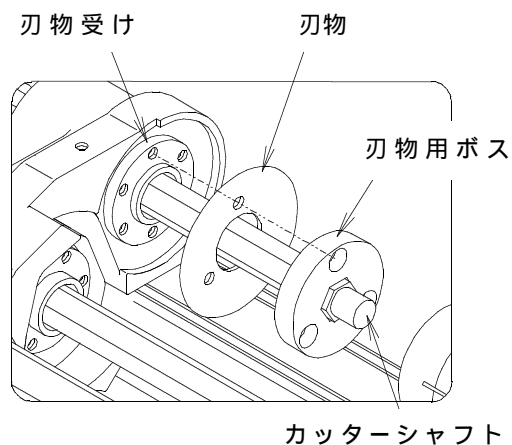
［６］軸受けブラケット（上）を固定しているネジを緩めます。（２箇所×２）
※他方も同じ要領で作業して下さい。
※ネジが緩まない場合は、別途Ｔグリップ付六角レンチ（3mm）等をご用意下さい。

［７］軸受けブラケット（上）を作業［５］とは反対の本体外側へ移動させます。
移動させると図のようにガイドローラーの軸が凹凸で連結されていることが確認できます。
スリットを上向きにしてガイドローラーを上方向に取り外します。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

［８］軸受けブラケット（上）を先程の作業とは反対の本体中央（内側）へ移動させ、カッターシャフト（上）から外れた状態にして、作業［４］で緩めた押さえローラーのネジを完全に外しカッターシャフト（上）から抜き取って下さい。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

［９］上刃物用ボスと上刃物が取り付けられているネジを外します。
（３箇所）
取り外しの際は、始めにネジを、１本ずつ３０°～４５°程度緩めた後に、下刃物用ボスを刃物ブロックに押しつけた状態（上刃と下刃が離れている状態）で刃物用ボスを回転させながらネジを緩めてから行ってください。
ネジを外せば上刃物が交換可能な状態になります。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

刃物交換時に上刃と下刃がかみ合った状態で回転させると、刃物に欠けや、キズ等が発生する場合があります。

［10］ 下刃物用ボスと下刃物が取り付けられているネジを外します。
（３箇所）
ネジを外せば下刃物が交換可能な状態になります。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

［11］ 刃物を交換し反対の手順で取り付け作業を行って下さい。
※他方も同じ要領で作業して下さい。

本機の構造上、取り外す場合は上刃物→下刃物、取り付けを行う場合は
下刃物→上刃物の手順で行わなければ、取り外し・取り付けができません。

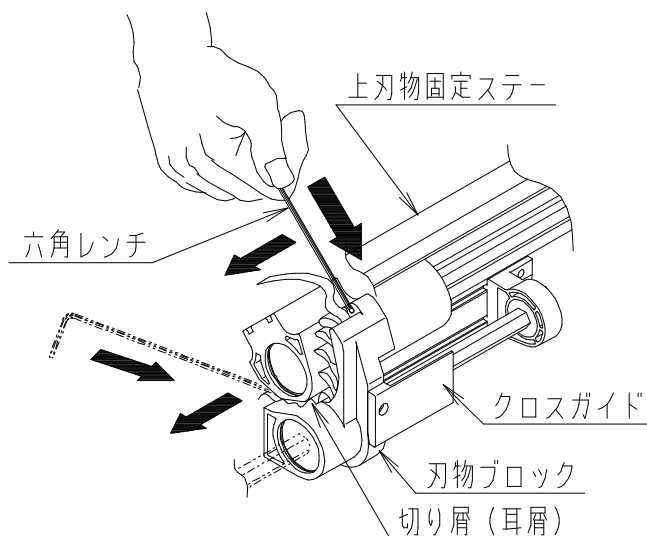
刃物用ボス取付のポイント

・刃物受け、刃物、刃物用ボスそれぞれの取付穴を、カッターシャフト（六角棒）の１辺の真上に合わせて下さい。
・１箇所をネジで仮締めした後に、残りの箇所を下刃物用ボスを刃物ブロックに押しつけた状態（上刃と下刃が離れている状態）で刃物を回転させて順に締めて下さい。
・最後にモンキーもしくはスパナを用いて本締めを行う際は、なるべく刃物を回転させないよう行って下さい。
　※刃物用ボス取付の際には、ネジの長さに注意して下さい。
　上刃用　‥‥　長いネジ
　下刃用　‥‥　短いネジ

切り屑（耳屑）の除去

刃物ブロックには耳屑が詰まり難い構造になっていますが、クロスの種類や端部の状態によっては耳屑が詰まる場合があります。六角レンチ（付属品）もしくは竹串などで除去して下さい。

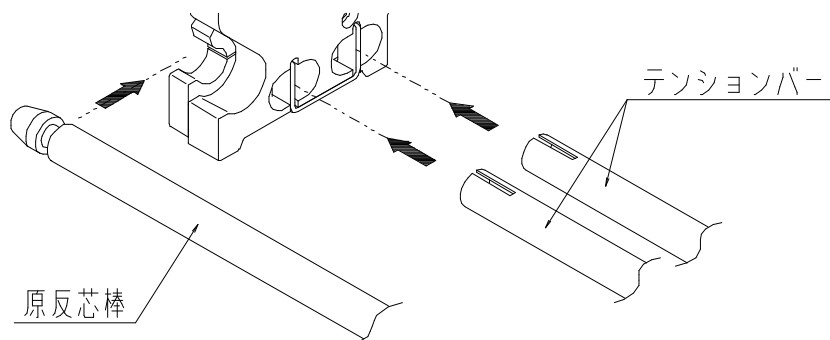
［1］上部の開口部からはみ出ている耳屑を引き出します。

［2］付属の六角レンチもしくは竹串など先の細い棒状の物をクロス挿入側から差し込み、耳屑を除去します。

［3］全て除去できた事を確認し、作業を再開して下さい。

耳屑が詰まり出すと、クロス端部の切れ具合が変わってきます。
早期発見する事により、クロスへのダメージが軽減されます。

必ず糊付機の電源を切って作業を行って下さい。

テンションバーの収納

スリッター本体フレームには糊付機付属品の原反芯棒・テンションバーを収納することができます。持ち運びの際にご利用下さい。

持ち運びに際して、収納した原反芯棒やテンションバーを持たないで下さい。
原反芯棒やテンションバーが曲がったり、外れてスリッター本体が落下し破損やケガの恐れがあります。

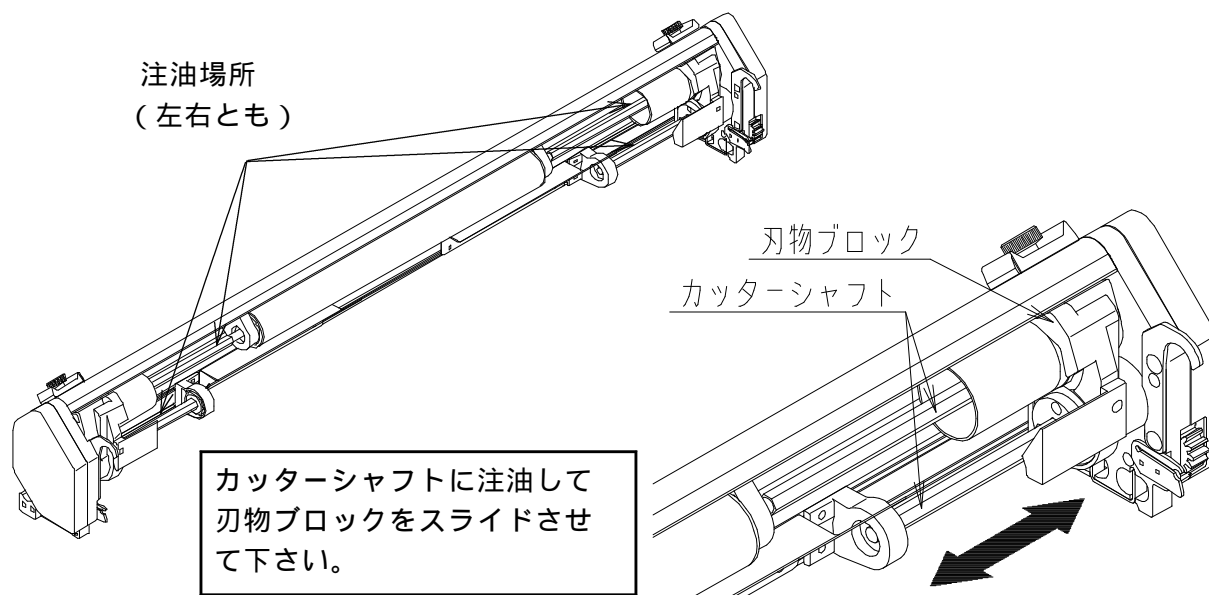
スリッターのお手入れ

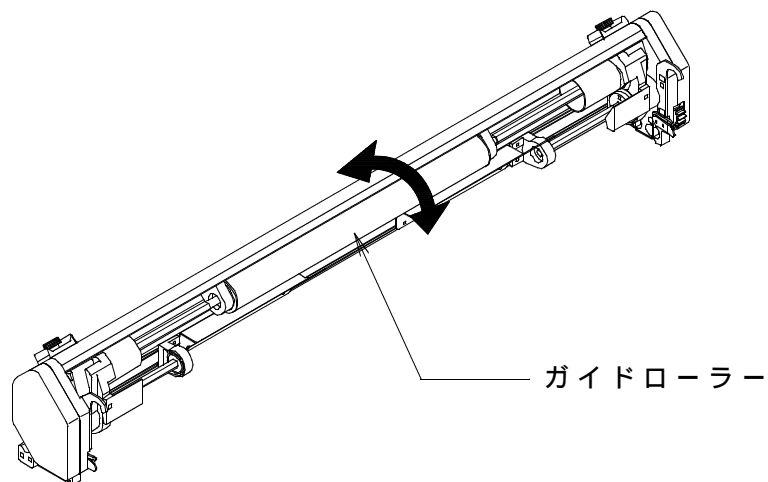
スリッターの手入れが不十分な場合は、裁断性能が低下し、切り口が波打ったり切れ味が悪くなったりします。作業が終われば下記の手順に従って掃除と手入れを充分に行って下さい。

[１] 各部のネジのゆるみを確認し、ゆるみがあれば増し締めして下さい。

[２] 歯車のセットビスのゆるみを確認し、ゆるみがあれば増し締めして下さい。

[３] 刃物を乾いた布などで空拭きし、付着した埃やゴミをきれいに取り除きます。
糊が付着している場合は、堅く絞った雑巾できれいに拭き取り、その後乾燥した布で水分を拭き取ります。
付着した汚れを取り除いた後は、刃物に薄くシリコンオイルを塗布して下さい。
→切断作業前には付着したオイルをきれいな布などで必ず拭き取って下さい。

[４] シャフトの軸受部分に注油して下さい。

トラブルチェック

使用中に刃物ブロック部のスライドが重く動かなくなる事があります。
万一、上記のような場合には、

ガイドローラーを少し前後に回転させてから刃物ブロックをスライドさせれば、解消出来ます。

仕　様

製品コード	051-0247-00
外形寸法	183mm(H) x 105（137㎜フック含む）mm(D) x 1,176mm(W)
重　　量	約8Kg
切断有効幅	750mm～1,005mm

製品仕様は改良等のために予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー

極東産機株式会社

〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL http://www.kyokuto-sanki.co.jp/

お客様相談室　0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00〜18:00）